

経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道 月形町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	52.38	85.98	4,664

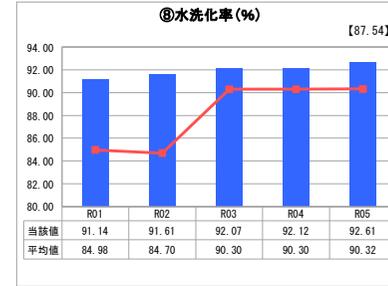
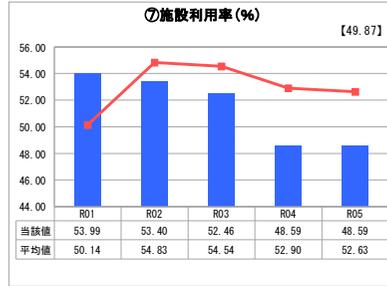
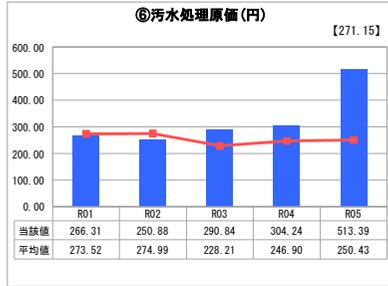
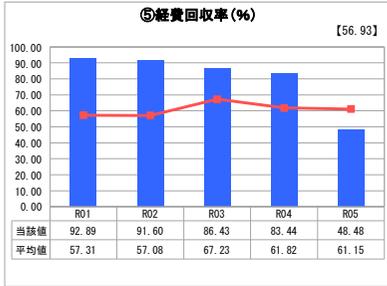
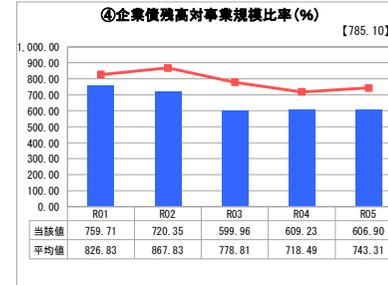
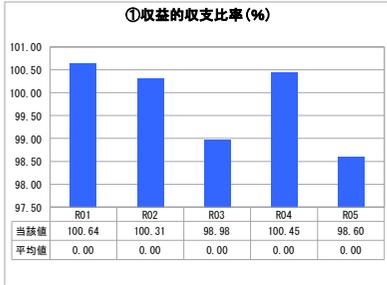
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,821	150.40	18.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,462	1.57	931.21

グラフ凡例

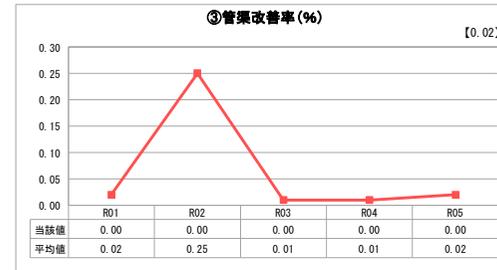
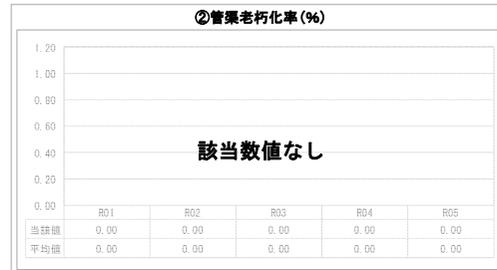
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①令和5年度は緊急的な修繕が多くなったため比率が下がっているが、平成30年度以降は地方債償還金の減少により概ね100%に近い数値となっている。今後も経営改善に向けた努力を続けていく必要がある。

②令和4年度までは地方債現在高の減少により、減少傾向にあったが、令和5年度は施設の大規模改修により企業債借入を行っており、比率は増加している。

③令和5年度に緊急的な修繕があったため、例年と比較して大きく減少している。次年度以降は前年以前と同水準に戻る見込みだが、今後も100%以上となるように、維持管理費等の経費削減を推進する。

④令和5年度は経費回収率と同様に緊急的な修繕により増加しているが、次年度以降は前年以前と同水準に戻る見込み。類似団体の数値を参考に、経費削減を推進する。

⑤類似団体の平均と比べて低い数値となっているが、人口減等を原因として、処理水量が減少しており、経営努力等による改善は難しい。今後は施設の規模縮小や統廃合を検討する必要がある。

⑥類似団体平均値を上回っている。接続率は向上しているが単身世帯が多く、有収水量の増加には繋がっていない。

2. 老朽化の状況について

③管渠について、耐用年数が経過するまで期間があるものの、劣化状況の把握を進め、計画的な更新を行う必要がある。

全体総括

令和5年度は緊急的な修繕により支出が増加し、経費回収率や汚水処理原価の数値が前年より悪化しているものの、過去4年間を比較すると全体的に類似団体の経営に近い状況である。

水洗化率は類似団体と比較して高い数値となっているものの、人口減により有収水量の減少が続いており、汚水処理原価が類似団体と比較して高い状況にある。また、施設利用率が減少が続いていることから、処理能力・施設規模の縮減について検討する必要がある。

現在、施設の機能強化事業を実施しており、経費や地方債残高の増加が見込まれることから、適切に現状を分析し、経営の改善を推進する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。